

リニア新幹線公聴会に応募して、県知事に JR 東海の準備書に対する疑問や不安を届けよう！

●JR 東海は事業者見解を県知事に送付

11月25日、JR東海は意見募集していたリニア新幹線「環境影響評価準備書」について、市民意見の概要とその意見に対する事業者（JR東海）の見解を、関係する自治体の長に送付したと発表しました。東京都から愛知県までの7都県からの意見者数は2,539通（インターネット659、郵送1,880）、意見数は14,046件で、そのうち神奈川県に対する意見数は6,776件でした。

各都県別の意見数

14,046 件の内訳

全都県に係る意見	5,280 件
東京都 //	120 件
<u>神奈川県 //</u>	<u>6,776 件</u>
山梨県 //	345 件
静岡県 //	297 件
長野県 //	591 件
岐阜県 //	279 件
愛知県 //	356 件

JR 東海 HP から：
ニュースリリース (2013. 11. 25)

分類ごとの意見数

	合計	全都県	神奈川県	
事業計画	3,635	1,063	2,572	
環境保全 (生活環境)	環境保全一般	2,093	1,239	854
	大気環境	207	16	191
	水環境	439	20	419
	土壌環境・その他	900	821	79
	景観・人と自然との触れ 合いの活動の場	22	5	17
	廃棄物等・温室効果ガス	781	61	720
	環境保全 (自然環境)動物・植物・生態系	740	24	716
手続き	927	665	262	
技術全般	2,312	1,366	946	
合計	12,056	5,280	6,776	

★【神奈川県】について、環境影響評価準備書に対する意見の概要及び当該意見についての事業者の見解
JR 東海 HP 参照 <http://company.jr-central.co.jp/company/others/prestatement/kanagawa/index.html>

●準備書についての今後の手続き

環境影響評価法により、県知事は送付を受けた120日以内に、準備書について環境の保全の見地からの意見を書面により述べることになります。

(神奈川県)リニア準備書公聴会開催日程と公述人応募方法

★神奈川県の開催日時および場所

第1回 平成26年1月12日(日) 午前9時30分～午後4時30分まで(予定)
宮前市民館ホール (川崎市宮前区宮前平 2-20-4)

第2回 平成26年1月13日(月・祝) 午前9時30分～午後4時30分まで(予定)
サン・エールさがみはら (相模原市緑区西橋本 5-4-20)

★公述人の申し出（申出書・提出先）

◎締め切り、1月6日（月）必着 で提出か郵送です。

神奈川県環境農政局環境部環境計画課

〒231-8588（住所の記載は不要、郵便番号と上記の宛先だけで可）

・問い合わせ先：環境影響審査グループ 電話 045 (210) 4070 (直通)

■公述申出要項は、公述申出書とともに、県ホームページより入手できます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/640037.pdf>

※次の場所でも入手できます。（相模原市、愛川町を記載）

相模原市環境経済局環境共生部環境政策課、 相模原市緑区役所行政資料コーナー
相模原市緑区役所大沢まちづくりセンター、 相模原市城山総合事務所城山行政資料コーナー
相模原市津久井総合事務所津久井行政資料コーナー、 相模原市緑区役所串川出張所
相模原市緑区役所鳥屋出張所、 相模原市緑区役所青野原出張所、 相模原市緑区役所青根出張所
相模原市相模湖総合事務所相模湖行政資料コーナー、 相模原市藤野総合事務所藤野行政資料コーナー
愛川町総務部企画政策課、 東海旅客鉄道株式会社環境保全事務所（神奈川）
または、お近くの相模原連絡会事務局メンバーにお問い合わせください。

★公聴会の傍聴について

（事前の手続きは不要）どなたでも傍聴できますので、希望される方は直接会場へ。

加山市長へ公開質問状を提出しました。

リニア中間駅誘致計画などに関する公開質問および要望

「リニア相模原連絡会」（代表、浅賀きみ江）は、12月3日市広域交流拠点推進課を訪れ、公開質問状を手渡しました。JR東海の環境影響評価（アセスメント）準備書は相模原市において、橋本駅付近の中間駅、鳥屋の車両基地、小倉の変電所など住民生活が一変させられる内容にもかかわらず、JR東海の準備書説明会では多くの質問に対し、「基準値は超えない」、「影響は少ない」、「適切に処理する」などマニュアルに沿った回答を繰り返すのみで、説明責任を果たしたとは言えませんでした。市民の命と暮らしを守り、不安や心配をぬぐい去るためにも市民の疑問、質問に対し誠意をもって答えるよう申し入れました。

質問内容は、◆中間駅の具体的な位置が示されていないのに環境影響評価としても騒音、振動、交通渋滞、大気汚染など細かな評価が行えないと思うが市は十分と考えているのか ◆地上での駅周辺の整備や移転、立ち退きを含む市の財政負担 ◆鳥屋車両基地について市として必要な情報の提供、市民の質問、要望を聞く機会を持つ予定はないのか、など計16項目。

また、要望内容は、中間駅、車両基地などリニア計画で市民生活への影響の大きい相模原市が主催して、JR東海も含めた「公聴会」を開催すること。



12月4日 神奈川新聞
（公開質問状提出の記事）

■カナロコ（12/3付）の記事

“リニア線計画で市民が公開質問状／相模原” <http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1312030013/>

お願い

★ ひきつづき、「リニア中央新幹線」計画の凍結を求める署名活動にご協力をお願いします。 ●第4次集約：2014年1月31日

★ 活動は市民の募金で維持しています、ぜひご協力をお願いします。

●郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者： 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 (TEL:090-4378-9257)

編集責任：中野渡 旬 相模原市緑区東橋本3-19-8-309 (TEL, FAX:042-712-7077 mail: MHA01005@nifty.com)